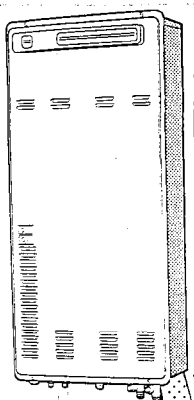


取扱説明書 操作編

保証書付

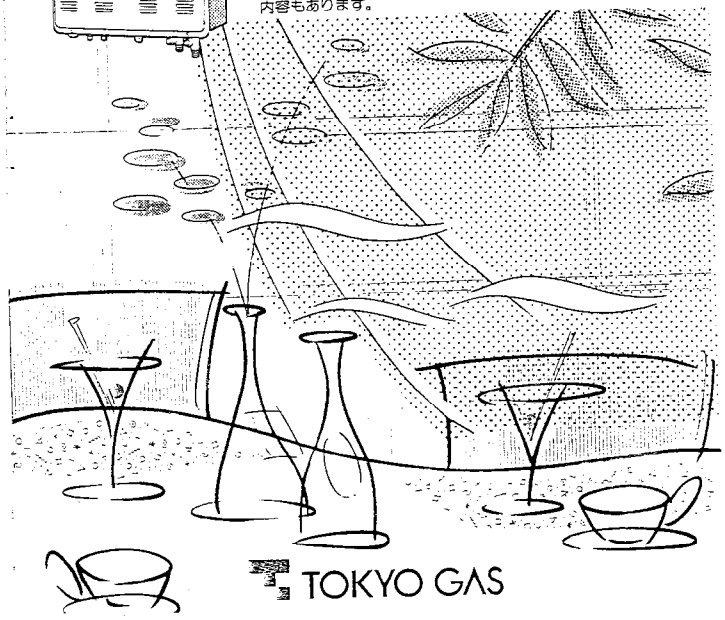
型式名	OURH-1600	OURH-1600	OURH-1600-AL
品名	ID-240RFA (屋外設置型)	ID-240RFA7 (ウォールボックス設置型)	ID-240RFA2 (アルコーブ設置型)
機器コード	5084539	5086538	5085548

給湯暖房用熱源機

機器を使用する前に、取扱説明書(安全のための注意編)とあわせてよく読み、十分に理解した上でご使用ください。
●本書の中には、取扱説明書(安全のための注意編)と重複している内容もあります。

PL法対応

適用機器名	適用機器コード
ID-240RFA	5084539



TOKYO GAS

ご愛用の皆様へ

このたびは当社の給湯暖房用熱源機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
保証書は本説明書P.25にありますので、大切に保存してください。
●来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
●本書を紛失されたときは、お買い上げの販売店または最寄りの東京ガスでお買い求めください。

もくじ

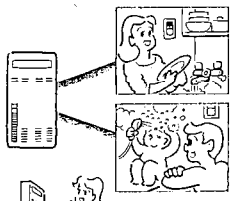
① 特長・機能の紹介 …… (1)
② 必ずお守り下さい。 …… (2)
③ 各部の名称とはたらき …… (6)
④ 使用方法 …… (8)
⑤ 別売リモコンの使用方法 …… (11)
⑥ 点検・お手入れ …… (14)
⑦ 長期間使用しない場合 …… (14)
⑧ 凍結による破損防止 …… (15)
⑨ 故障かな?と思ったら …… (17)
⑩ アフターサービス …… (20)
⑪ 仕様(外形寸法図) …… (22)
保証書 …… (25)

機器名	機器コード							機番	機号	連番	号	訂正番号
ID-240RFA7	5	0	8	6	5	3	8	1	3	0	1	1

1 特長・機能の紹介

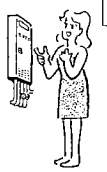
① 給湯能力は16号

小さくても能力は16号。
家中でたっぷりのお湯が使えます。



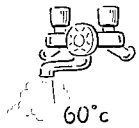
② コンパクトなボディ

奥行き140mmというボディなので場所を選ばず取り付けられます。



③ 出るお湯はいつも60℃

出湯温度60℃に固定されていますので、混合水栓の給水側を調節するだけですぐにお湯が使えます。

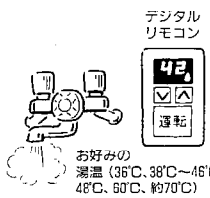


④ 暖房機能付

放熱器の運転スイッチを入れるだけで自動的に暖房運転をします。

⑤ 別売リモコン使用でお好きな湯温。

別売リモコンを使えば、湯温が変えられます。



⑥ マイコンが安定したお湯をコントロール

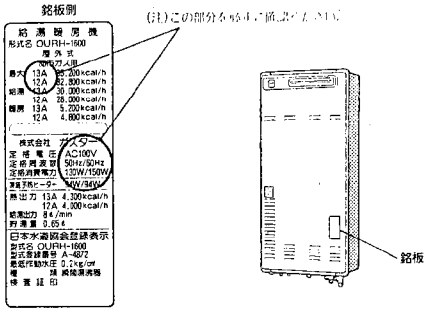
マイコンが16~2.5号(相当)までガス能力を制御する、比例制御方式。

機器コード	増報番号	通し番号	打直番号
5086538	13	02	1

2 必ずお守り下さい。

使用ガス及び使用電源について

- 機器に貼付してある銘板に表示されているガス(ガスグループ)以外のガスでは使わないでください。
- 銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使わないでください。



(例：都市ガス13A・12Aの場合)

用途について

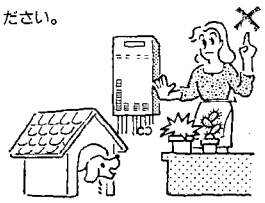
- 給湯および暖房以外には使わないでください。
- しばらく使わなかったとき、はじめに出てくる水は飲まないようにしてください。

市販の補助用具について

- この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。(不完全燃焼の原因となります。)
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使わないでください。

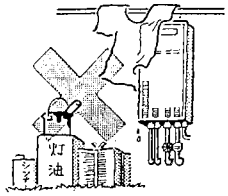
使用場所について

排気口から排気ガスが出ますので、近くに危険物、植木、ペット、その他加熱されて困るものは置かないでください。



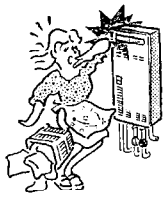
火災予防

機器の上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。排気口は洗たく物やビニールなどでふさがないでください。



やけどの注意

使用中および消火直後は、排気口が高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。

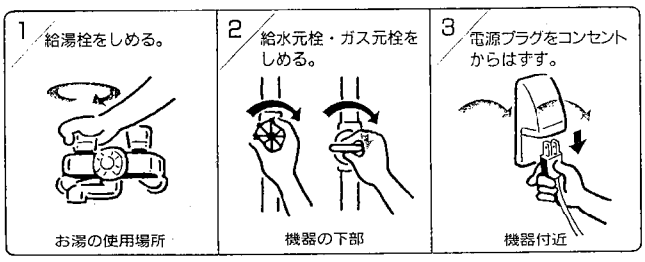


ガス事故防止

ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめてガス元栓をしめ、お求めの販売店か最寄りのガス会社へご連絡ください。
係員が処置するまでは、マッチやライター等を使ったり、電源プラグの抜き差しや電気器具の「入」「切」は絶対にしないでください。

異常時の処置

万一、異常と思われるとき（使用中に異常音のするとき）は下図の処置をし、お求めの販売店か、ガス会社へ連絡してください。



出湯についてのご注意

- 給湯栓をしぼりすぎるとお湯が極端にあつくなったり、出なくなったりします。そのようなときは給湯栓をもっとあけてください。
- 複数の場所で同時にお湯を使いますと、お湯が少なくなったり、ぬるくなったりします。そんなときは1ヵ所だけでお湯を使うようにしてください。
- しばらく使用しなかったあと、あるいは出湯を止めてすぐ再出湯したときは湯温が安定するまで多少時間がかかります。
- シャワーをご使用の場合は手で湯温を確かめてからご使用ください。
- 冬期など水温が低いときは、設定の温度のお湯が出ないことがあります。このようなときは、給湯栓をしぼってお使いください。

停電のとき

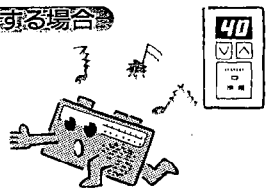
停電中はご使用になれません。再通電してから運転の操作をしてください。

リモコン使用の際のご注意

- リモコンは子どもがいたずらしないようにご注意ください。
- リモコンには水をかけないようにしてください。浴室のリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
- リモコンは絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

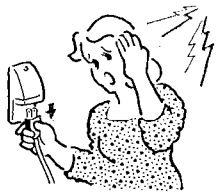
リモコンの近くでラジオを使用する場合

ラジオの音声が乱れる時があります。このような時には、リモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。



雷のときは

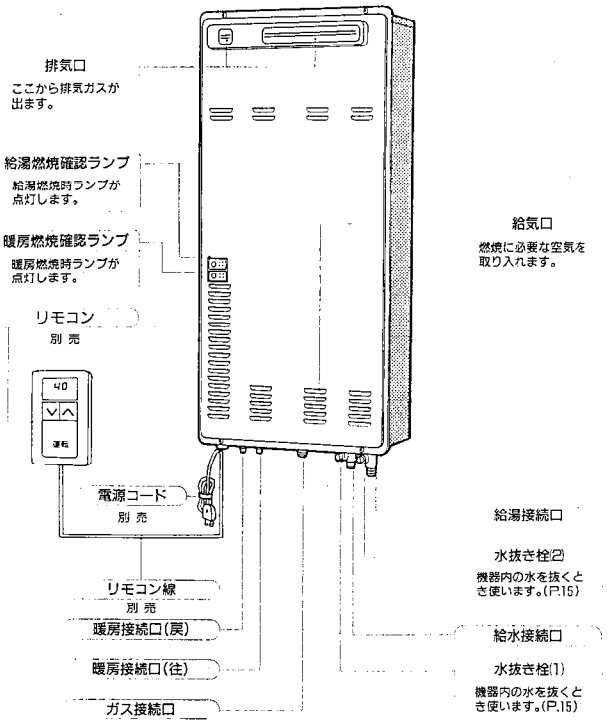
激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。



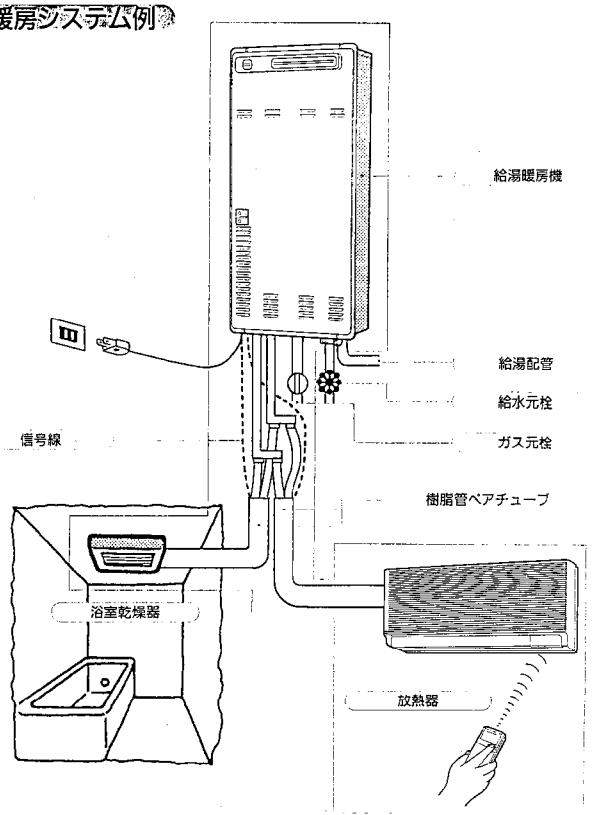
3 各部の名称とはたらき

機器コード							排気形号	機種番号	形式番号
5	0	8	6	5	3	8	1	3	0	3	1

本製体

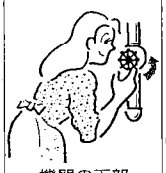
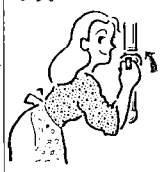


暖房システム例



4 使用方法

はじめてお使いになる場合

1	2	3	4
給水元栓を全開にします。	ガス元栓を全開にします。	給湯栓をあけ、水の出ることを確認してからしめます。	電源プラグをコンセントに差し込みます。(ブレーカーを入れます。)
			
機器の下部	機器の下部	お湯の使用場所	機器付近

❶ 給湯

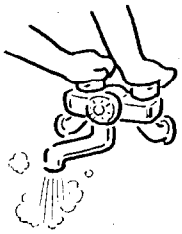
混合水せんの給水せん、給湯せんの順であけます。
●給湯せんだけを開けると約60℃のお湯が出ます。

❷ 温湯調節

混合水栓のお湯、水の出しかげんで湯温を調節します。

❸ 停止

使用後、給湯せん、給水せんの順でしめます。



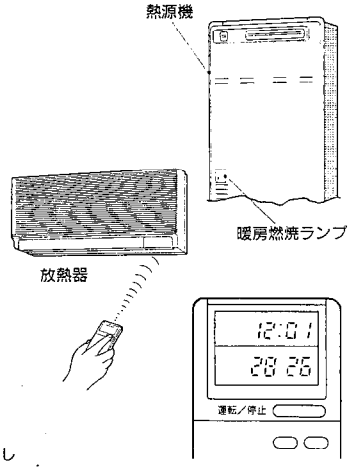
ご注意

❶シャワーをご使用の場合は手で温湯を確かめてからご使用ください。
❷お湯側をしぼりすぎると運転が停止し、お湯が出なくなることがありますが、再び栓をあければ正常に運転し、お湯が出ます。

❶ 運転・暖房

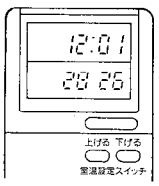
放熱器の運転スイッチを入れます。

- 自動的に運転を開始し、燃焼中は熱源機の燃焼ランプが点灯します。
- 燃焼ランプは室温により点灯↔消灯を繰り返します。
- 放熱器（暖房）の取扱説明書もご覧ください。



❷ 温度調節

リモコンの室温設定スイッチで調節します。



❸ 停止

リモコンの運転スイッチを切ります。

- 自動的に運転を停止し、熱源機の運転ランプが消火します。

使用方法

機器コード							機番	機号	過番	し号	訂正番号
5	0	8	6	5	3	8	1	3	0	4	1

暖房使用時のご注意

❶ 放熱器にはいろいろの種類があります。
それぞれの取扱説明書に従って、運転操作、温度調節を行ってください。

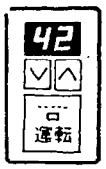
❷ 放熱器の空気抜き栓は絶対にあけないでください。
暖房配管に空気が入り運転できなくなります。

❸ 停電・断水・ガスの供給が停止したとき

- 停電時…運転が停止します。再通電すると運転を再開する放熱器と再開しない放熱器があります。ご使用の放熱器の取扱説明書をよくお読みください。停電中は念のため放熱器の運転スイッチを切ってください。
- 断水時…そのまま暖房をお使いください。
- ガスの供給停止時…運転が停止します。ガスの供給が再開されても運転はしません。一旦放熱器の運転スイッチを切り、ガスの供給が再開された後、放熱器の運転スイッチを入れてください。

5 別売リモコンの使用方法

- デジタルリモコンを取り付ければお湯の温度を設定することができます。

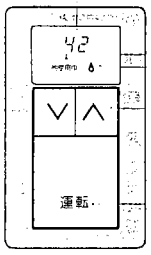


デジタルリモコン

デジタルリモコンの使い方

- デジタルリモコンには露出型と壁埋込型があります。

デジタルリモコン



露出タイプ

設定温度表示ランプ
運転スイッチを入れると点灯、給湯温度を表示します。

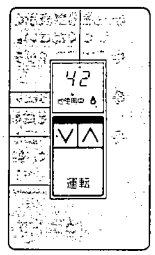
エラー表示ランプ
機器の異常を表示します。

他使用中ランプ(2個以上設置の場合)
点灯しているときは温湯設定はできません。

燃焼ランプ
バーナーに点火すると点灯します。

給湯温度設定スイッチ
給湯温度を設定します。

運転スイッチ
リモコンの「入」「切」をするとき押します。通常は「入」にしておきます。



壁埋込タイプ

準備

「運転スイッチ」を押します。
- 「設定温度表示ランプ」が点灯します。

※イラストのリモコンは露出型、標準タイプリモコンです。埋込型も操作方法は同じです。

温湯調節

「給湯温度設定スイッチ」で行います。
- △を押すと温度が高くなり、▽を押すと低くなります。
温湯は36℃、38℃～46℃、48℃、60℃、HI(約70℃)に設定できます。

湯温を下げる

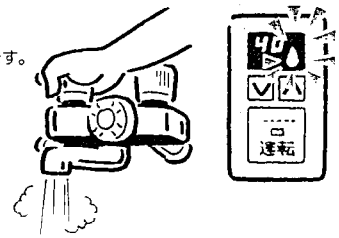
湯温を上げる

ご注意

❶給湯温度表示の数字は実際の給湯温度と多少異なりますので、湯温設定の目安としてください。
❷「運転スイッチ」を切って再び入れたとき、湯温はスイッチを切る前の温度となります。
❸はじめてお使いになる場合や一度電源プラグを抜いたあと、再び運転操作をしたときの湯温は42℃に設定されています。
❹冬期など水温が低いときは、設定の温度のお湯が出ないことがあります。このようなときは、給湯栓をしぼってお使いください。

給湯

給湯栓をあけます。
- 「燃焼ランプ」が点灯し、お湯が出ます。



ご注意

❶シャワーをご使用の場合は手で湯温を確かめてからご使用ください。
❷お湯側をしぼりすぎると運転が停止し、お湯が出なくなることがありますが、再び栓を開ければ正常に運転し、お湯が出ます。

停止

給湯栓をしめます。
- 「燃焼ランプ」が消えます。

「運転スイッチ」はそのままにしておきます。次回使うときは給湯栓のあけ、しめだけでお湯が使えます。
外出など、長時間お湯を使わない場合は「運転スイッチ」を切ってください。

機器コード	機種番号	通し番号	訂正番号
5086538	13	051	

6 点検・お手入れ

点検

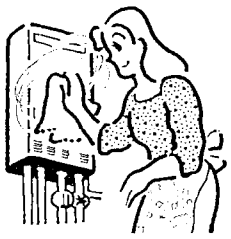
- 機器や配管から、水もれ、ガスの臭気はありませんか。
- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
- 機器のまわりに燃えやすいものはありませんか。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、時々内部のフィルター（金網）を掃除してください。

お手入れの際のご注意

- お手入れの前には、必ず給水元栓とガス元栓をしめ、機器が冷えてから行ってください。
- 機器は絶対に分解しないでください。

お手入れ

機器やリモコンの汚れは、やわらかい布を水にぬらしてかたく絞り、軽くふきとってください。ベンジン、シンナーなど使わないでください。



7 長期間使用しない場合

- お買い上げの販売店か、ガス会社へご連絡下さい。
- 特に冬期は凍結による破損防止処置が必要ですので、注意してください。

8 凍結による破損防止

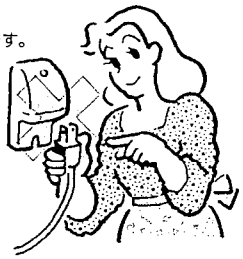
冬は、暖かい地方でも急な寒波などで機器内が凍結し破損する場合がありますそんなときは

- この機器は、気温が下がってくると自動的に凍結予防運転をしますので、電源プラグは絶対に抜かないでください。
- 給湯・暖房と2つの凍結予防装置がありますので、それぞれについて、凍結予防を行ってください。

給湯側凍結予防

通常は凍結予防ヒーターが作動し凍結予防を行います。

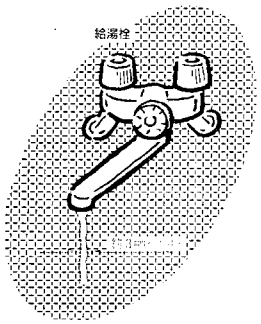
- 「運転スイッチ」の「入」「切」には関係なく作動します。
- 電源プラグを抜くと作動しません。電源プラグは絶対に抜かないでください。



停電のときの凍結予防は

給湯栓から水を流して予防します。

1. ガス元栓をしめます。
2. 浴室の給湯栓をあけ、少量（ただし特に寒い日は多め）の水を浴そうに流し込んでください。
3. 流量が不安定なことがありますので、約30分後にもう一度流量を確認してください。



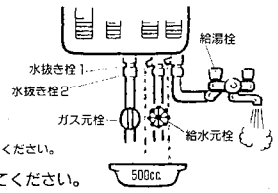
凍結による破損防止

長期間家をあけるため、やむなく電源を切るときの凍結予防は

機器内の水抜きをして予防します。次の順序で必ず行ってください。

1. ガス元栓をしめます。
2. 電源プラグをコンセントから抜きます。（ブレーカーを切ります。）
3. 給水元栓をしっかりしめます。
4. すべての給湯栓を全開にします。
5. 水抜き栓(2)をゆるめてはずします。
6. 水抜き栓(1)をゆるめます。（2～3回転）

＊排水量は約500ccですから、これに見合った容器を用意してください。



水抜き後再び使用するときは、次の順序で行ってください。

1. 水抜き栓(1)、(2)を元通りにしめます。
2. 給水元栓を全開にし、給湯栓からの水の出ることを確認してから給湯栓をしめます。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。（ブレーカーを入れます。）
4. ガス元栓を全開にして、給湯の操作を行います。

ご注意

1. 上記の方法では、給湯配管やバルブ類の凍結予防はできません。凍結予防のため、配管には必ず保温材を巻いてください。
2. 冷え込みの激しい地域では、「水道凍結防止器」等を配管およびバルブ類に巻いて十分な保温をしてください。
3. 万一凍結した場合は、水漏れがないことを確認してからご使用ください。
4. 凍結して水が出ない状態で使用しますと、危険な場合があります。
5. 上記の手続きをしないで、機器が破損した場合の修理は有料です。

暖房側凍結予防

暖房側は、暖房を使用していなくても気温が下がると、自動的に凍結防止運転を行ない凍結を防止します。このため、下記の準備を行なっておいてください。

- 電源プラグは抜かないでください。
- ガス元栓は全開にしておいてください。

放熱器は、種類によって凍結防止運転の方法が異なるため、それぞれの取扱説明書をお読みください。

9 故障かな?と思ったら

点火操作をしても点火しなかったり、ご使用中に停止した時は、点検・修理を依頼する前に次のことをお調べください。

状況	点検事項
リモコン（別売）の運転スイッチを押しても設定温度表示ランプ、または運転ランプが点灯しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。（ブレーカーが入っていますか。）
給湯栓をあけてもお湯が出ない。	1 ガス元栓が全開になっていますか。 2 給水元栓の開きが不十分ではありませんか。 3 断水ではありませんか。 4 給水接続口フィルターにゴミが詰まっていませんか。 5 リモコンの運転スイッチを押しましたか。
給湯使用中に消火してしまう。	混合水栓の給水側をいっぱいに開いて給湯側をしぼっていませんか。
あつい湯が出ない。	1 混合水栓の給水側を開きすぎていませんか。 2 設定表示温度が低くなっていませんか。
ぬるい湯が出ない。	1 混合水栓の給水側をしぼりすぎていませんか。 2 設定温度表示が高くなっていませんか。
放熱器の運転スイッチを押しても風が出てこない、またはあたたまらない。	1 温度調節が低くなっていませんか。 2 ガス元栓が全開になっていますか。 3 フィルターがつまっていませんか。 4 2室同時に暖房運転していませんか。 詳しくは放熱器の取扱説明書をご覧ください。

次のような現象は故障ではありません。

状況	点検事項
給湯栓を開いてもすぐお湯が出ない。	機器から給湯栓までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでに、少し時間がかかります。
給湯栓をしめても、しばらく音がしている。	再使用時の点火をより早くするため、運転停止後約5分間は燃焼ファンを回転させています。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	排気に含まれる水分が冷やされて白く見えるためで、異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱すると気泡となってあらわれるためで異常ではありません。
暖房運転中、放熱器の運転スイッチを切らないのに点火・消火を繰り返す。	室内温度により起こるもので異常ではありません。
放熱器の運転スイッチを切ってもしばらく音がしている。	熱回収のため、運転停止後約2分間ポンプを運転しています。

以上のことをお調べになってもなお、異常のある時や、おわかりにならない時は、お求めの販売店または最寄りのガス会社にご連絡ください。

機器コード						情報番号		通し番号		訂正番号
5	0	8	6	5	3	8	1	3	0	6	1

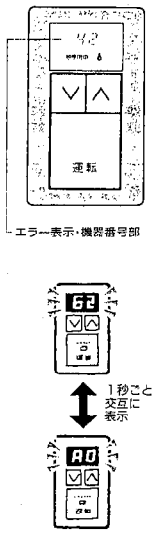
エラー表示

- デジタルリモコン（別売）にはエラー表示機能（故障診断機能）があります。
- リモコンの設定温度表示部に故障箇所と機器番号が1秒ごと、交互に表示されます。
- 修理を依頼されるときはエラー表示番号と機器番号(62)をお知らせください。

給湯側エラー表示

表示	故障箇所	対処
A0	運転切替スイッチの不具合	修理依頼
AA	炎の立消え炎検出系統の不具合	ガスメータの安全装置（マイコンメータ）が作動していませんか。そうでない場合は、修理依頼してください。
A1	給水温度センサー系統の不具合	修理依頼
A2	給湯温度センサー系統の不具合	
A4	炎検出系統の不具合	
A5	ファン回転系統の不具合	
A6	炎（燃焼）検出系統の不具合	ガス元栓が全開になっていますか。ガス元栓をひらき、リモコンの運転スイッチを一度切り、もう一度入れ、給湯栓をあけてください。エラー表示が出る場合は修理依頼してください。
A8	器体過熱防止装置の不具合	修理依頼

表示例



暖房側エラー表示

表示	故障箇所	対処
H0	運転切替スイッチの不具合	修理依頼
HA	炎の立消え 炎検出系統の不具合	ガスメータの安全装置（マイコンメータ）が作動していませんか。そうでない場合は、修理依頼してください。
HC	シスターン水位低下	修理依頼
H1	暖房入センサー系統の不具合	
H2	暖房出センサー系統の不具合	
H4	炎検出系統の不具合	
H5	ファン回転系統の不具合	
H6	炎（燃焼）検出系統の不具合	ガス元栓が全開になっていますか。ガス元栓を開いて再運転しても点火しない場合は、修理依頼してください。
H8	器体過熱防止装置の不具合	修理依頼

10 アフターサービス

サービス(点検•修理)を依頼されるときは

- P.17の「故障かな?と思ったら」の項をもう一度ご確認ください。それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お求めの販売店か最寄りの当社営業所へご相談ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
  - ❶ 品名(形式名) ID-240RFA、ID-240RFA7、ID-240RFA2(OURH-1600、OURH-1600-AL)
  - ❷ 現象(できるだけ詳しく)、リモコンのエラー表示番号、機器番号(62)(別売デジタルリモコン使用の場合)
  - ❸ 住所・氏名・電話番号
  - ❹ 道順
  - ❺ 訪問ご希望日

保証について

- 取扱説明書の25ページが保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり保証書の内容をよくお読みの後大切に保存してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、故障修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後10年間となっています。なお、補修用性能部品とはその製品の性能を維持するための必要な部品です。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が異なる地域、または電源周波数の異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。
  お買い上げの販売店または転居先のガス会社にご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要になりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。
- 設定場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料です。

11 仕様

機器コード	情報番号	選択番号	訂正番号
5086538	13	07	1

仕様表

分類名称		給湯暖房用熱源機		
商品名		ID-240RFA	ID-240RFA2	ID-240RFA7
形式名		OURH-1600	OURH-1600-AL	OURH-1600
外形寸法		幅350×奥行140×高さ750		
外装材質		フロントカバー：鋼板塗装仕上げ、ケーシング：鋼板塗装仕上げ		
製品質量（本体）		26kg		
接続口	ガス	15A(R½)	15A(R½)	
	給水	15A(G½)	15A(G½)	
	給湯	15A(G½)	15A(G½)	
	暖房	差し込みジョイント		
※ガス消費量		最大40.93kW(35,200Kcal/h)		
※給湯能力		16号～2.5号(相当)		
※暖房出力		最大5kW(4,300Kcal/h)		
最低作動水圧		20kpa(0.2kgf/㎠)		
最低作動流量		2.5ℓ/min		
電気関係	電源	AC100V(50Hz/60Hz)		
	消費電力	130W/150W(50Hz/60Hz)		
	点火方式	連続放電点火方式(ダイレクト点火方式)		
制御装置 ガス	給湯	ガス比例制御方式(フィードフォワード、フィードバック制御)		
	暖房	ガス比例制御方式(フィードバック制御)		
	水	8ℓ/min 流量制限弁		
ポンプ機外揚程		4m(3.5ℓ/min時)		
安全装置	給湯	立消安全装置、空だき過熱防止装置、過圧逃し装置、ファン回転検知装置、凍結予防装置、流水検知装置		
	暖房	立消安全装置、空だき過熱防止装置、過圧逃し装置、ファン回転検知装置、水位検知装置		
	共通	器体過熱防止装置、漏電安全装置、誘導雷保護装置		

- ガス消費量・給湯能力は、ガス種により多少異なります。
- 上記はJISに規定する標準ガス・標準圧力での値です。
- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

能力表

使用ガス（ガスグループ）	1時間当たりのガス消費量KW(Kcal/h) 最大	給湯 最大	給湯 最小	暖房 最大	暖房 最小	標準出力 出湯能力(ℓ/min) 水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	暖房KW(Kcal/h) 最大	暖房KW(Kcal/h) 最小
13A	40.93(35,200)	34.88(30,000)	5.81(5,000)	6.05(5,200)	2.09(1,800)	(16)	10	5.00(4,300)	1.51(1,300)
12A	38.14(32,800)	32.56(28,000)	5.47(4,700)	5.58(4,800)	1.98(1,700)	(15)	9.4	4.53(3,900)	1.40(1,200)

- (　　)内出湯量は湯水を混合させたときを示します。
- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- 上記はJISに規定する標準ガス・標準圧力での値です。
- 上記以外の型式は仕様が異なる場合があります。
- 出湯能力は水温、水圧により多少異なります。

㉒

㉓

品名 ID-240RFA（屋外設置型）
ID-240RFA7（ウオールボックス設置型）
ID-240RFA2（アルコーブ設置型）
給湯暖房用熱源機

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合、本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1 保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から2年間とし機器本体を対象とします。
2 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくは最寄りの東京ガスへお申し出ください。
3 サービス員が参上した時に本証書をお示しください。
4 保証期間中でありましても、次の場合には有料修理といたします。
　イ 取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合。
　ロ お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
　ハ 火災、天災、地変等による故障、その他不可抗力による故障。
　ニ お買い上げの店、あるいは当社にご連絡なしに改造された場合の故障。
　ホ 機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造される場合。
　ヘ 本証書を紛失された場合。
5 無料修理などアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店または取扱説明書に記載してある最寄りの東京ガス・支社・営業所にお問合せください。

保証履行者 東京ガス株式会社
東京都港区海岸1丁目5番20号
電話 03 (433) 2 1 1 1

保証責任者 株式会社 ガスター
神奈川県大和市栄見台3の4
電話 0462(62)0161

修理記録

この機器の修理記録は、機器本体のフロントカバーの裏に記録します。

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	年　月　日
販売店名	扱者名
住所	
電話番号	

1. この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

機器コード					情報番号	保守番号	通番	号	訂正番号
5	0	8	6	5	3	8	1	3	0	8	1

取扱説明書

安全のための注意編

適応型式／OURシリーズ・OURH-1600、1600WB

この「安全のための注意編」には、本機器を安全に使用していただくために必要な注意事項が記載されています。
機器を使用する前に、取扱説明書（操作編）とあわせてよく読み、十分に理解した上でご使用ください。

- 取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないときお読みください。
- 来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- 各説明項目の中には、取扱説明書（操作編）と重複している内容もあります。
- 取扱説明書を紛失したときは、お買上げの販売店またはお近くの当社営業所でお買い求めください。

必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークをつけて表示しています。マークの意味は次の通りです。

⚠危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い この表示は、本機器を安全・快適に使うために是非理解していただきたい事柄を示しています。

上記に述べる重傷、傷害、使用者とはそれぞれ次のようなものをいいます。

- 重　傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
- 傷　害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。
- 使 用 者：本機器の使用者を想定しています。ただし、使用者は購入者だけでなく、その家族・来客・購入者から機器を譲渡された人なども含みます。

絵表示の意味

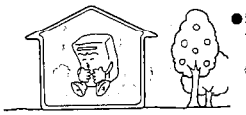
△ 記号は注意	△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。 △の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。 例 …破裂注意
⃠ 記号は禁止	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 ⃠の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。 例 …火気禁止
● 記号は行為を強制・指示	●記号は行為を強制・指示する内容があることを告げるものです。 ●の中や近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。 例 …必ず行う

安全のための注意

⚠危険

屋内に設置しない

- ●この機器は屋外設置型です。屋内には絶対に設置しないでください。
- ●増改築などによって屋内にしたり、囲い（波板など）をすることもやめてください。
  ○不完全燃焼の原因となり、大変危険です。



⚠警告

自分で設置工事をしない

- ●機器の設置・付帯工事には、専門の資格・技術が必要です。工事はお買い上げの販売店またはガス供給業者に依頼してください。
  ○正しく設置しないと故障や火災の原因となるだけでなく、一酸化炭素中毒や機器の落下など様々な事故の原因となります。

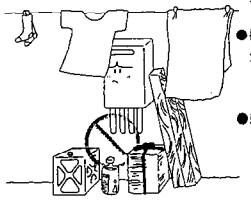
用語メモ　*不完全燃焼：燃焼用空気の不足などにより機器が不完全燃焼をおこすと、一酸化炭素（CO）という毒性の強い気体が発生するため、中毒事故の原因となります。*

機器コード	機種番号	通番号	訂正番号
5086538	13	09	1

⚠警告

火災予防のために

発火注意



●排気口から排気が出ますので、機器の周囲には燃えやすいもの、加熱されて困るもの（植物、ペットなど）を置かないでください。

●洗濯物などを排気口の周辺に干さないでください。

○火災や不完全燃焼の原因となります。

●機器の上や排気口の周囲にはガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり、使用したりしないでください。

●就寝や外出のときは給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

周囲にスプレー缶を置かない

破裂注意

●機器の上や排気口の周囲にはスプレー缶を置かないでください。

○熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発することがあります。

⚠警告

ガスの種類と電源を確認する

銘板を確認

●銘板に表示してあるガスの種類（ガスグループ）と、お宅でご使用のガスの種類が一致しているか確認してください。ガスの種類がわからないときや、ガスの種類が一致しないときは、お買い上げの販売店またはガス供給業者へご連絡ください。

○表示以外のガスで使用すると、爆発点火や不完全燃焼、火災の原因となります。

○機器を移転するときは、特にご注意ください。

・移転先のガスの種類が銘板の表示以外のときは機器の改造、調整が必要です。この場合の費用は保証期間内でも有料です。
・移転先のガスの種類によっては機器の改造ができないことがあります。
詳しくは移転先のガス供給業者または当社営業所へご相談ください。

●この機器の電源はAC100V・50Hz・60Hz共通です。お宅でご使用の電源と一致しているか確認してください。

○他の電源で使用すると、機器が破損したり火災の原因となります。

アースの接続を確認する

アースを接続する

●アース線がアース端子に接続されているか確認してください。

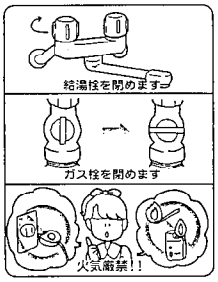
○接続されていないときは、感電事故防止のためアース線をアース端子に接続してください。

○アース端子のないお宅では、感電事故防止のためアース端子の取付工事をお買い上げの販売店に依頼してください（有料）。

⚠警告

ガスが漏れたときの処置方法

火気禁止



●ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめ、ガス栓を閉め、ガス供給業者へご連絡ください。

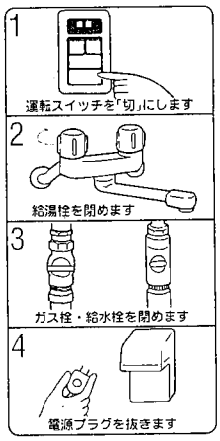
●係員が処置するまでは、換気扇（家電製品など）のスイッチ操作や電源プラグの抜き差し、マッチ・ライターなどの使用は絶対にやめてください。

●周辺の電話も使用しないでください。

○火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

⚠警告

異常時の処置方法



●異常燃焼（点火時や使用中にゴーと音がするような燃焼）や臭気、異常音、水漏れなどに気づいたときは、すぐに使用をやめ、確実に左記1～4の処置をして、お買い上げの販売店またはガス供給業者へご連絡ください。

●地震、火災など緊急のときにも、1～4の処置をしてください。

※これはガスが漏れたときの処置方法ではありません。ガス漏れに気づいたときは…
P4「ガスが漏れたときの処置方法」

機器用コンセントがないお宅では、電源プラグを抜くかわりに機器用ブレーカーで本体を切ります。機器用ブレーカーは玄関や洗面所、台所などにあります。

機器コード							情報番号	通番号	改訂番号
5	0	8	6	5	3	8	1	3	1	0	1

⚠警告

リモコンの給湯温度を変えるときやけどに注意

●お湯を使用している本人以外は、給湯温度を変えないでください。

●給湯温度を高温に変えるときは、他の人がお湯を使っていないことを確認してください。

○他の人がお湯を使っていると、そこのお湯の温度が変わり危険です。

●小さなお子さまにはリモコンをさわらせないでください。

お湯を使うときやけどに注意

●お湯を使うときや給湯温度を変えたときは、必ず給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。

○お湯の温度を確認しないと、熱いお湯でやけどをすることがあります。

●お湯を一度止めて再度使用するときは、はじめに熱いお湯が出ることがありますので、同じように確かめてください。

○高温出湯後は配管に高温のお湯が残っていますので特にご注意ください。

○夏期、水温が高いときは、給湯温度を低く設定しても温帯が少ないとお湯の温度は設定より高くなります。こんなときは給湯栓を開けて湯量を増やすか、水と混ぜてお使いください。

●体にお湯を浴びたまま給湯温度を変えないでください。

○熱いお湯でやけどをすることがあります。

●給湯温度表示が"HI"のときは高温のお湯が出ますので、やけどにご注意ください。

●使用中、水圧の変化などでお湯の温度が変わることがありますので、小さなお子さまには1人でお湯を使わせないでください。

⚠注意

排気口とその周辺はさわらないやけどに注意

●使用中、使用直後は機器および排気口とその周辺は高温になります。やけどをすることがありますので、絶対にさわらないでください。

○小さなお子さまのいるお宅では、特にご注意ください。

入浴するときやけどに注意

●入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。

●浴槽のふたは蒸気でやわらかくなることがあります。ふたの上に乗ったり、手をついたりしないでください。

○ふたが壊れたり、やけどの原因となることがあります。小さなお子さまのいるお宅では、特にご注意ください。

水抜き時のやけどに注意

●凍結予防の水抜きは機器が冷めてから行ってください。

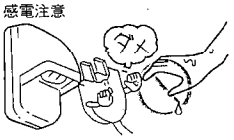
○高温のお湯が出てやけどをすることがあります。

リモコンがないお宅では

●やけど防止のため、お湯を出すときは給水栓を開け、次に給湯栓を開けてください。お湯を止めるときは先に給湯栓を閉め、次に給水栓を閉めてください。

⚠注意

感電事故を防止するために



●電源プラグは絶対にぬれた手でさわらないでください。

●感電・火災事故などを防止するため、電源プラグ、電源コードは下記の点に注意して使用してください。

○電源コードを加工したり、破損させたりしないでください。

○電源プラグはプラグを持って抜き差ししてください。コードを引っぱって電源プラグを抜かないでください。

○電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んでください。

○電源プラグにほこりがついているときは、ほこりを軽くふきとってください。

日本国内向けです

●この機器は日本国内向けです。海外での設置および使用はやめてください。

火災の原因となるだけでなく様々な事故の原因となります。この場合は当社では責任を負いかねます。

用途について

●台所、洗面所、浴室などの給湯やシャワー以外の用途には使用しないでください。

○思わぬ事故の原因となることがあります。

他の機器との接続について

●この機器をソーラー（太陽熱温水）システムに接続しないでください（OUR-1600シリーズは接続できます）。

○思わぬ事故の原因となることがあります。

⚠注意

使用中に停電したら給湯栓を閉める

●この機器は停電時は使用できません。全ての給湯栓を閉めて復帰するのをお待ちください。

○再通電したときは、給湯温度表示などを確認してから使用してください。

機器やリモコンは分解しない

●機器やリモコンは絶対に分解したり、衝撃を与えたりしないでください。

○感電したりけがや故障の原因となります。

○お子さまがいたずらしないようにご注意ください。

お手入れの際のご注意

●お手入れは、機器が冷めてから行ってください。

●お手入れの際、けがには十分ご注意ください。

機器の上に乗らない排気口・給気口に指や棒を入れない

●機器の上に乗ったり、排気口・給気口に指や棒を入れないでください。

○故障やけがの原因となります。小さなお子さまのいるお宅では、特にご注意ください。

積雪時のご注意

●排気口が雪でふさがれないようにご注意ください。

○排気口が雪でふさがれると使用中自然消火したり、点火不良の原因となります。こんなときはお買い上げの販売店またはガス供給業者へ除雪を依頼してください。

○屋根から落ちた雪が排気口をふさいだり破損のおそれのあるときは、屋根の雪止め工事を工事店に依頼してください。

機器コード	情報番号	通番	訂正番号
5086538	13	11	1

お願い

雷が聞こえたら

プラグを抜く

●落雷による機器の損傷を予防するため、雷の音が聞こえたときは使用をやめ、安全な状態を確認して電源プラグをコンセントから抜いてください。

○この機器は電源プラグを抜くと使用できません。

○雷が遠くなったことを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

○再通電したときは、給湯温度を必ず確認してから使用してください。

○上記の処置をしないで機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料です。

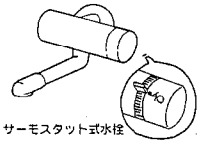
○機器用コンセントがないお宅では、機器用ブレーカーで「入・切」してください。 P5「異常時の処置方法」

水栓について

●サーモスタット式水栓の場合は、ハンドルの温度を確認してください。

○この水栓をご使用の場合、リモコンの給湯温度はご希望の温度（ハンドルの温度）より高めに設定してください。

○水栓にはいろいろな種類があります。使用方法は水栓の取扱説明書をご覧ください。機器に適さない水栓を使用すると熱いお湯が出たり、水になったりすることがあります。
・水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。熱いお湯が出たり、また湯量にならないことがあります。
・浄水器をご使用になるときは一時止水での「開・止」はしないでください。



サーモスタット式水栓

お願い

給湯栓で湯量をしぼりすぎない

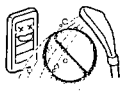
●給湯栓で湯量をしぼりすぎると、熱いお湯が出たり、水になったりすることがあります。

○このようなときは給湯栓を開けて湯量を増やしてください。

リモコンの取り扱いについて

●むやみに水をかけないでください。

○故障の原因となります。



●テレビやラジオはリモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。

○音声や画像が乱れることがあります。

別売部品以外は使わない

●この機器の別売部品以外は使用しないでください。

○故障の原因となります。

飲用に使うときは

●機器内に長時間たまった水や朝一番にお使いのお湯は、飲んだり調理に使用しないで、雑用水としてお使いください。

一般家庭用製品です

●この機器は一般家庭用製品です。業務用のような使用頻度の高い使いかたをすると機器の寿命を短くします。

○この場合の修理は有料となります。

お願い

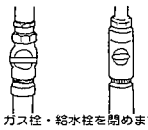
冬期または長期間使用しないときは凍結予防をする

●冬期は機器内の水が凍結して機器が破損、水漏れすることがありますので凍結予防を行ってください。

●長期間使用しないときは、凍結予防のため水抜きを行ってください。
☞取扱説明書（操作編）をご覧ください

○上記の処置をしないで機器が破損したときの修理は保証期間内でも有料です。

万一凍結したらガス栓を閉める



ガス栓・給水栓を閉めます

●万一凍結したときは、ガス栓・給水元栓を閉めて解凍するのを待ってください。

凍結したままでは絶対に使用しないでください。機器故障の原因となります。

●水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認してから使用してください。

地下を掘ると、近隣に迷惑をかけるだけでなく、多大な修理・補修費用がかかります。これらの費用はお客さまの負担となります。

機器・リモコンの掃除

●機器やリモコンを洗剤およびベンジン、シンナーでふいたり、タワシなど固いものでこすらないでください。